

The following is an excerpt from the Japanese tale 『Tongue-Cut Sparrow/ 舌切りすずめ』

Rewire it in the perspective of 「雀（すずめ）」 by switching between the passive and active voice.

むかし、むかし、あるところにお爺さんとお婆さんがいました。お爺さんは毎日、お婆さんが作ったお弁当を持って、山に仕事に行きました。ある日、お腹がすいた一羽の雀 (a sparrow) が山へ飛んで来ました。そして、お爺さんが仕事をしている時、お弁当は全て雀に食べられてしまいました。でも、お爺さんは怒りませんでした。それは、お爺さんが雀を「かわいい」と思ったからです。そして、雀を家につれて帰りました¹。それから、お爺さんは雀を「チュン」と名付けて²、とてもかわいがりました³。かご(cage)に入れて、大事にかいました⁴。でも、お婆さんは雀をきらいました⁵。お爺さんがいない時、お婆さんは雀をいじめました。

ある日のことです。お爺さんはいつものように山へ出かけて、お婆さんは洗濯をするために川へ行きました。お婆さんは出かける前に、雀に「ねこが洗濯のりを食べないように見てください」と言いました。しかし、お昼になると、雀はお腹がすいて、洗濯のりをぜんぶ食べてしまいました。家に帰って来たお婆さんはとても怒って、雀をしかったです⁶。そして、雀をつかまえました⁷。お婆さんは「この舌が悪いことをしたのか」と怒鳴って⁸、はさみで雀の舌を切ってしまいました。そして、お婆さんは雀を家から追い出しました⁹。...

¹ つれて帰る = to bring back someone

² なづける = to name someone/ give someone a name

³ かわいがる = to take good care of/ be fond of

⁴ かう = to raise or feed an animal (as one's pet)

⁵ きらう = to dislike someone

⁶ しかる = to scold someone

⁷ つかまえる = to capture someone

⁸ どなる = to yell at someone

⁹ おいだす = to drive someone out / force someone to leave